

令和 5 年度 施策評価表

施策	1702	新幹線を活かしたまちづくり	施策担当部	都市整備部	部長	嶋原 純治
			施策担当課	新幹線まちづくり課	課長	田中 祐二
施策の方針	九州新幹線西九州ルート of 整備を促進するとともに、新たなまちづくりの拠点となる新大村駅周辺や新幹線車両基地周辺の整備を進め、観光やビジネスなど多様な交流を促進する。					
関連するSDGsのゴール	<div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="text-align: center;">  <p>8 豊かになる経済成長も</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>9 産業と技術革新の基盤をつくろう</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>11 住み続けられるまちづくりを</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>17 パートナーシップで目標を達成しよう</p> </div> </div>					

【DO（実施）】

後期基本計画（令和3年度～令和7年度）における数値目標

指標名	単位	基準値 (R1)	R3目標値	R4目標値	R5目標値	R6目標値	R7目標値	R4年度	
			R3実績値	R4実績値	R5実績値	R6実績値	R7実績値	達成率	進捗率
① 新大村駅周辺整備事業の進捗率	%	63.0	94.0 82.9	97.0 95.7	100.0	100.0	100.0	98.7%	95.7%
② 新大村駅の乗車人員数	人/日	—	—	2,100 548	2,100	2,100	2,100	26.1%	26.1%
③									
④									
⑤									

施策達成状況の説明

新幹線の整備については、鉄道・運輸機構や関係機関と連携を図りながら整備促進を図り、広報誌やホームページ等で広報活動を行った。

新幹線新大村駅周辺地区については、土地区画整理事業を進め、平成30年度から街路や宅地等の基盤整備に着手し、駅周辺整備の詳細な工程計画を策定の上、地権者への負担を考慮しながら、その移転契約についても令和2年度末までに全て完了した。

車両基地周辺地区においても、令和3年度末までに駅へのアクセス道路及び駅前広場が概ね完成し、令和4年9月には新大村駅及び車両基地駅周辺施設とともに竣工、新幹線開業を迎え、土地区画整理事業では、換地処分（土地等の権利確定、清算）を残すところとなっている。

新大村駅公園の整備については、公園に隣接する民間事業者が活用する区画と一体的な空間となるよう設計・整備を行う方針に変更したため、昨年度は多少の遅れが生じたが、事業全体として、順調に進捗している状況である。

ソフト面においては、平成30年度に策定した「大村市新幹線開業アクションプラン」により、大村市新幹線アクションプラン推進協議会と連携し、市民一丸となったアクションプランの推進に取り組み、機運醸成を行い、令和4年9月の新幹線開業を盛り上げることができた。

新大村駅の乗車人員数については、目標値を大きく下回っていた。今回の実績値が190日間(R4.9.23～R5.3.31)の実績であることも影響しており、今後も新大村駅周辺の整備を継続して進めることで交流人口の拡大を図り、乗車人数の増加につなげていきたい。

施策経費

(単位:千円)		R4年度 決算	R5年度 予算	R6年度 見込	特記事項
内訳	事業費	1,840,519	282,226	815,597	
	国庫支出金	691,264	69,204	346,050	
	県支出金	1,077	0	0	
	地方債	567,700	132,200	405,700	
	その他	0	0	0	
	一般財源	580,478	80,822	63,847	
	人件費	128,827	80,715	—	
フルコスト	1,969,346	362,941	—		

施策の概要（細施策）

170201	新幹線の整備促進	九州新幹線西九州ルートの開業に向け、関係機関や関係自治体と連携しながら、着実な整備を促進します。
170202	新大村駅周辺の拠点の形成	新大村駅周辺の基盤整備を行い、高い交通利便性を活かして、企業誘致や定住促進等に取り組みます。 また、車両基地の整備に伴い、周辺部への関連企業の誘導を図るとともに、新たな観光資源として活用するなど、立地を活かした取組を進めます。
170203	多様な交流の促進	九州新幹線西九州ルートの開業に向け、おもてなしや観光商品づくりなど、「大村市新幹線開業アクションプラン」に基づき、官民が一体となった交流人口の拡大に取り組むとともに、ビジネスや学術など、多様な交流活動を促進するため、積極的な情報発信に努めます。

【CHECK（評価）施策担当部長】

施策を達成する上での問題点・課題

官民が一体となった新幹線開業アクションプランの実施により機運が高まる中、アクセス道路や駅前広場などのハード整備が完了し、令和4年9月23日に開業を迎えた。
 今後も魅力的な新幹線駅前となり、新幹線を最大限に活かしたまちづくりに結び付けるため、開発地と新大村駅公園の一体的活用に向けた整備、交通結節点としての二次・三次交通の充実が課題である。
 また、土地区画整理事業においては、関係者に十分説明し、遅滞なく換地処分を行うことが課題である。

【ACTION（改善・改革）】

上記の問題点・課題を踏まえた事務事業の改善・改革や新規事業についての考え方

新大村駅公園については、賑わいとくつろぎの交流拠点とし、民間施設と一体的に活用できる魅力ある公園となるよう整備を行う。

令和6年度新規事業

	事業名	担当課	令和6年度見込	対象・事業概要など
			事業費（千円）	
1				
2				
3				
4				
5				
			0	